

平成18年11月8日

地域共同テクノセンターだより No. 27

地域共同テクノセンター

1. 産学関連

(1) 「有明産業技術振興会 分科会2(新産業探索)」

10月20日(金)に本校専攻科棟2階講義室において「分科会2」が開催されました。本年度の分科会2の活動は昨年度に引き続き、福祉高齢化社会対応のまちづくりという観点から、現在有明高専が実施している「医工連携技術開発」「竹材整備・竹材プロジェクト」「地域再生プロジェクト」等との連携をさらに発展させていく事にあります。



今回は本校竹材整備・竹材活用研究プロジェクトと共催で、竹材活用についての講演会を企画しました。

○ 講演題目「竹資源の産業化の現状と今後の課題」

○ 講師 北見 幹治氏 (社)山口県技術交流協会理事
また、講演会終了後、先生を囲んで懇親会が行われました。



(2) 知財シンポジウムの参加

10月20日(金)エルガーラホールにおいて、「知的財産シンポジウム2006(福岡)」開催され、梅本コーディネーターが参加されました。

(3) 九州産学連携ビジネスショウ

10月25日(水)～27日(金)北九州西日本総合展示場において、標記イベントが開催されました。テクノセンターからは、明石先生、富永先生が参加されました。



2. 民学関係

(1) 「第1回大牟田環境塾“エコビレッジ”講座」

10月8日(日)に大牟田市エコサルクセンターにおいて、大牟田市地域活性化センター主催による標記講座が開催されました。5日間開催されるうちの第3日目として電気工学科の塚本俊介先生が「環境と家計にやさしい電気の使い方」というテーマで講義をして下さいました。質疑応答が盛んな貴重な時間となりました。



(2)「第1回大牟田環境塾“エコビレッジ”講座」

10月15日(日)、同じく大牟田市エコタウンにて、標記講座の第4回目に電子情報工学科内海道弘先生が「紫外線の恐怖～オゾン層の破壊の現状～」というテーマで講義をして下さいました。会場の皆さんは環境汚染の現状を真剣に聴講されておりました。



(3) 地域との連携による高専祭共同イベント

10月28日(土)、29日(日)に高専祭が開催されました。地域共同テクノセンターからは、地域の方のお力をお借りして、「手作りの楽しさ再発見」「食の文化を見つめ直そう」というテーマで「手作りかずら細工体験コーナー」や「なつかしのわらじ作りコーナー」として、「芋からつくる手作りこんにゃく」「郷土料理の鬼の手こぶし(ちまき)」の実演と試食コーナーを設けました。前日からの準備は大変でしたが、楽しくて楽しくて時間を忘れていました。出展している我々が、一番満足したのではと思える程大変貴重な体験をさせて頂きました。尚、「手作りこんにゃく」と「鬼の手こぶし」のレシピは事務室に容易してありますので、必要な方はご連絡下さい。



3. その他

本紙ならびに共同研究等に関するご意見・ご質問がございましたら、テクノセンター事務室までご連絡ください。

テクノセンター事務室 (事務補佐員 中村)

TEL&FAX: (0944)53-8627

E-mail: arcc-office@ml.ariake-nct.ac.jp